



第16号

こまがた元気会だより



令和4年度がスタートしました。「こまがた元気ビジョン」実践の2年目として、ビジョンに掲げる駒形地区の将来像「住みよく、元気な『こまがた』の創造」を目指して、こまがた元気会は引き続き活動を進めてまいりますので、皆さんの御協力をよろしくお願いいたします！

～出店希望者大募集！～

《「駒形げんき直売所(仮)」開設準備中！》

「こまがた元気会だより第14号(令和3年12月15日)」でも詳しくお知らせしましたが、主に野菜の販売を目的とした直売所の開設に向けて、ただいま準備中です！引き続き出荷希望者を募集中(4月中旬まで)です。

☆ おおよそのプラン ☆



場所は、こまがた元気館(JA旧駒形購買店舗)

朝、出荷者が各自野菜を持ち込みトレイに並べる。原則1袋100円

夕方に集合して、売上げ結果を確認・精算し、売れ残りを持ち帰る。

当面、毎週月～木曜日。朝9時～夕方4時30分頃まで開店予定。

出店者による打合せを行い、

準備が整い次第スタートします。



【参考】高郷町・大谷直売所の様子



《駒形『あなたのそばが111』塾(仮) 開講予定！》

令和4年度では、そば打ち名人の育成のための講習会を開催します。会津駒形そばの会の御指導のもとに実施を予定しており、そば打ち道具一式も新調しました。受講者募集等詳しくは次号以降でお知らせします。



新しいそば打ち道具一式

令和4年4月5日 発行：こまがた元気会

《連絡先》喜多方市塩川町中屋沢字田中乙3(里の駅こまがた元気館)

電話 080-2805-1050(事務局：大平)

メール koma.genki7.7@gmail.com

《編集協力》NPO法人かけはし(代表理事 石島 来太)喜多方市寺田4905-21

《「会津の八百比丘尼」絵本づくりに助成金を頂きました！》

これまでお知らせしたとおり、地域の貴重な文化資源を守り伝えるため、金川寺に伝わる八百比丘尼尊に関する絵本づくりを進めているところですが、このたび一般社団法人福島民報教育福祉事業団の「第31回民報福祉・文化奨励金」20万円の交付をいただけることになりました。令和4年度中に作成し、全戸配布も予定しています。

(※3月18日(金)の福島民報新聞に紹介記事が掲載されていました。)



《南原堤の保全と活用を！》

コロナ禍を考慮して、残念ながら令和4年度も南原堤桜祭りが中止となりましたが、今後のより充実した祭りの実施や南原堤の保全と活用に向け、南原堤桜祭り実行委員会(塩川総合支所や関係団体で構成)では、令和4年度中に検討と環境整備作業を進めることとされました。

すでに雄国山麓ゆめクラブにおいては、一般社団法人福島県林業会館フォレスト助成金等も活用しながら堤内の雑草・雑木の刈払い等を継続しており、令和4年度においても、他の外部資金の導入を図りながら、探勝路の土砂敷きや痛みが進んでいる桜の枝切りなど計画しています。地域の貴重な自然資源を守り活用するために皆さんの御協力をお願いいたします。



南原堤・天狗巣病など
痛みの進む桜の木



《駒形地区行政区長会の新体制がスタート！》

3月27日(日)に駒形地区行政区長会打合せ会が開催され、新役員は次の通りとなりました。

会長 今井輝雄(再任・刈麻) 副会長 小瀧竹憲(新任・松崎) 会計 関本浩二

(新任・中道地)

◆なお、市社会福祉協議会の担当者から、サロン(集いの場)の設置について説明があり、これまで自主活動として行われている江添、下窪、社会福祉協議会の助成のあるいきいきサロンとしての上窪に加え、令和3年度には田中(4月～)、竹屋(10月～)でいきいきサロンがスタートして、おしゃべり、軽体操、健康講話、バス旅行など楽しく活動が進められていることが報告されました。未実施の集落でも、いつでも担当者が説明に伺いますので是非検討いただければと思います。

地区の皆様へお知らせ！

現在駒形地区では、地区の活性化のために活動してくれる「地域おこし協力隊」を募集しています！地域おこし協力隊は、現在喜多方市外で生活をしている方が喜多方に移住をしてくて、市の職員として地域おこしに尽力する制度です。もし知り合いに来た方の地域おこしに興味がある方がいましたら、ぜひ本制度をご紹介ください！詳しくは地域振興課へお問合せ下さい。